

平成24年11月30日
水産庁

水産物の市況について(平成24年11月及び12月)

—東京都中央卸売市場における平成24年11月(平成24年10月21日～11月20日集計)の市況と、
平成24年12月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成24年11月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べ、やや増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は横ばいに推移しました。

II 平成24年12月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は、北部太平洋海域(三陸中南部沿岸))

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は冷凍原料、製品ともに需要期を迎えて、全体的に見ると前月と比べ増加すると見込まれます。卸売価格はアキサケは堅調であるが他のサケが横ばいのため、全体では横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域(金華山沖合、鹿島灘沿岸)、駿河湾～伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域。)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西方海域。)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は赤身類、脂身類とも需要の最盛期に入り、前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格は赤身類は横ばい、脂身類はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

入荷量は先月と比べ減少すると見込まれるものの、需要が弱くなりつつあることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）
（単位：千トン、円/kg）

	11 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	51	799	49	783	48	780
前年	44	851	44	840	41	829

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
 2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格
（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	11 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生鮮品）	818	104	153	169
さけ・ます（平均）	457	104	64	69
（ぎんざけ塩蔵品）	555	100	77	80
（あきさけ塩蔵品）	688	112	114	136
（ときさけ塩蔵品）	820	112	89	99
（べにざけ塩蔵品）	854	107	95	87
（さけ類冷凍品）	373	99	56	60
さば（生鮮品）	503	104	112	116
するめいか（平均）	464	103	125	126
（生鮮品）	499	103	138	134
（冷凍品）	372	104	93	105
あじ（生鮮品）	626	104	138	136
まぐろ（冷凍品）	1,246	99	81	87
（めばち冷凍品）	890	99	78	87
（きはだ冷凍品）	981	100	90	101
（くろまぐろ冷凍品）	3,682	97	100	104
（みなみまぐろ冷凍品）	2,227	93	93	100
さんま（生鮮品）	292	77	99	106

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。
 注2：11月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成19年～23年の加重平均値。
 注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。
 注4：さけ・ます（平均）は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。
 注5：まぐろ（冷凍品）は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 岡野、庄田
 直通 03-3591-5612